農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries

資料No. 1

農林水産省
大臣官房統計部
令和８年８月 31 日公表

令和８年産水稲の８月 15 日現在における 10ａ当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み

10ａ当たり収量の平均比見込みは、「やや上回る」が 24 道府県、「平均並み」が 19 都県、「やや下回る」が３県
10ａ当たり収量の前年比見込みは、「やや上回る」が５道府県、「前年並み」が 20 都県、「やや下回る」が 21 府県

○　気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式に基づき予測した。

【予測結果の概要】

１　10ａ当たり収量の平均比見込み

○　令和８年産水稲の10ａ当たり収量の平均比見込みは、**「やや上回る」**が**24道府県**、**「平均並み」**が**19都県**、**「やや下回る」**が**３県**となった。

○　これは、一部の地域で７月及び８月の日照不足や多雨の影響が見られるものの、田植期（５月）以降、総じて多照で推移したためである。

表１　10ａ当たり収量の平均比見込み（区分ごとの都道府県数）

10ａ当たり収量の平均比見込み	都道府県数
上回る　（対平均比106％以上）	0
やや上回る（対平均比105％～102％）	24
平均並み　（対平均比101％～99％）	19
やや下回る（対平均比98％～95％）	3
下回る　（対平均比94％以下）	0

○　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの10ａ当たり収量の平均比見込みである。
○　沖縄県については、第二期稲の田植えが終了していないことから含んでいない。
○　10ａ当たり収量の平均比見込み（８月15日現在）は、その後の気象が、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。

○　10ａ当たり収量の平均比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10ａ当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10ａ当たり予想収量は、８月15日現在では未確定の要素が多いことから公表することとしていない。

表２　令和８年産水稲 10ａ当たり収量の平均比見込み（８月 15 日現在）

区　分	10ａ当たり収量の平均比見込み	区　分	10ａ当たり収量の平均比見込み
北　海　道	やや上回る	三　　重	平均並み
青　　森	やや下回る	滋　　賀	やや上回る
岩　　手	やや下回る	京　　都	やや上回る
宮　　城	平均並み	大　　阪	やや上回る
秋　　田	平均並み	兵　　庫	平均並み
山　　形	やや上回る	奈　　良	やや上回る
福　　島	平均並み	和　歌　山	やや上回る
茨　　城	平均並み	鳥　　取	やや上回る
栃　　木	平均並み	島　　根	やや上回る
群　　馬	平均並み	岡　　山	やや上回る
埼　　玉	やや上回る	広　　島	平均並み
千　　葉	やや下回る	山　　口	平均並み
東　　京	平均並み	徳　　島（普通栽培）	やや上回る
神　奈　川	平均並み	香　　川	平均並み
新　　潟	やや上回る	愛　　媛	平均並み
富　　山	やや上回る	高　　知（普通栽培）	やや上回る
石　　川	やや上回る	福　　岡	やや上回る
福　　井	やや上回る	佐　　賀	やや上回る
山　　梨	やや上回る	長　　崎	やや上回る
長　　野	平均並み	熊　　本	やや上回る
岐　　阜	平均並み	大　　分	平均並み
静　　岡	平均並み	宮　　崎（普通栽培）	やや上回る
愛　　知	平均並み	鹿　児　島（普通栽培）	やや上回る

注：１　10ａ当たり収量の平均比見込みとは、10ａ当たり予想収量が10ａ当たり平均収量（前年産までの５か年中３年平均（最高、最低除く））と比較して多いか少ないかを表している。
２　本表における10ａ当たり収量の平均比見込み区分は、「上回る」が対平均比106％以上、「やや上回る」が105～102％、「平均並み」が101～99％、「やや下回る」が98～95％、「下回る」が94％以下に相当する。
３　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの平均比見込みである。

２　10ａ当たり収量の前年比見込み

○　令和８年産水稲の10ａ当たり収量の前年比見込みは、**「やや上回る」**が**５道府県**、**「前年並み」**が**20都県**、**「やや下回る」**が**21府県**となった。

○　これは、田植期（５月）以降、総じて多照で推移しているものの、一部の地域において、６月から７月の日照時間が前年を下回ったためである。

表３　10ａ当たり収量の前年比見込み（区分ごとの都道府県数）

10ａ当たり収量の前年比見込み	都道府県数
上回る　（対前年比106％以上）	0
やや上回る（対前年比105％～102％）	5
前年並み　（対前年比101％～99％）	20
やや下回る（対前年比98％～95％）	21
下回る　（対前年比94％以下）	0

注：前年（令和７年）産の作況単収指数は102である。

○　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの10ａ当たり収量の前年比見込みである。

○　沖縄県については、第二期稲の田植えが終了していないことから含んでいない。

○　10ａ当たり収量の前年比見込み（８月15日現在）は、その後の気象が、前年と同様に推移するとの前提ではなく、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。

○　10ａ当たり収量の前年比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10ａ当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10ａ当たり予想収量は、８月15日現在では未確定の要素が多いことから公表することとしていない。

表４　令和８年産水稲 10ａ当たり収量の前年比見込み（８月 15 日現在）

区　分	10ａ当たり収量の前年比見込み	区　分	10ａ当たり収量の前年比見込み
北　海　道	やや上回る	三　　重	前年並み
青　　森	やや下回る	滋　　賀	やや下回る
岩　　手	やや下回る	京　　都	やや下回る
宮　　城	前年並み	大　　阪	やや上回る
秋　　田	前年並み	兵　　庫	やや下回る
山　　形	前年並み	奈　　良	前年並み
福　　島	やや下回る	和　歌　山	やや下回る
茨　　城	前年並み	鳥　　取	やや下回る
栃　　木	前年並み	島　　根	やや下回る
群　　馬	前年並み	岡　　山	前年並み
埼　　玉	やや上回る	広　　島	やや下回る
千　　葉	やや下回る	山　　口	やや下回る
東　　京	前年並み	徳　　島（普通栽培）	やや下回る
神　奈　川	前年並み	香　　川	やや下回る
新　　潟	前年並み	愛　　媛	やや下回る
富　　山	やや上回る	高　　知（普通栽培）	やや下回る
石　　川	前年並み	福　　岡	前年並み
福　　井	前年並み	佐　　賀	やや下回る
山　　梨	やや上回る	長　　崎	前年並み
長　　野	前年並み	熊　　本	前年並み
岐　　阜	やや下回る	大　　分	やや下回る
静　　岡	やや下回る	宮　　崎（普通栽培）	前年並み
愛　　知	前年並み	鹿　児　島（普通栽培）	やや下回る

注：１　10ａ当たり収量の前年比見込みとは、10ａ当たり予想収量が前年の10ａ当たり収量と比較して多いか少ないかを表している。
　　２　本表における10a当たり収量の前年比見込み区分は、「上回る」が対前年比106%以上、「やや上回る」が105～102%、「前年並み」が101～99%、「やや下回る」が98～95%、「下回る」が94%以下に相当する。
　　３　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの前年比見込みである。

◎　累年データ

表１　水稲の年次別推移（全国）

年　産	作付面積（主食用）	生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70㎜で選別		作付面積（子実用）	ふるい目幅1.70㎜で選別	10ａ当たり平均収量	作況単収指数
		10ａ当たり収量	対前年比	収穫量（主食用（生産者ふるい上米））	10ａ当たり収量	収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））		収穫量（子実用）		
	ha	kg	%	t	kg	t	ha	t	kg	
平成28年産	1,381,000	531	103	7,322,000	544	7,496,000	1,478,000	8,042,000	536	101
29	1,370,000	517	97	7,077,000	534	7,306,000	1,465,000	7,822,000	538	99
30	1,386,000	511	99	7,081,000	529	7,327,000	1,470,000	7,780,000	536	99
令和元	1,379,000	514	101	7,061,000	528	7,261,000	1,469,000	7,762,000	534	99
2	1,366,000	508	99	6,906,000	531	7,226,000	1,462,000	7,763,000	515	99
3	1,303,000	515	101	6,698,000	539	7,007,000	1,403,000	7,563,000	514	100
4	1,251,000	511	99	6,390,000	536	6,701,000	1,355,000	7,269,000	513	100
5	1,242,000	515	101	6,390,000	533	6,610,000	1,344,000	7,165,000	512	101
6	1,259,000	519	101	6,519,000	540	6,792,000	1,359,000	7,345,000	513	101
7	1,367,000	526	101	7,181,000	547	7,468,000	1,425,000	7,790,000	514	102

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：１　作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

２　生産者が使用しているふるい目幅で選別された10ａ当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

３　生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。

平成28年産から令和元年産まで：　全国農業地域ごとに、過去５か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅である。

令和２年産以降　：　都道府県ごとに、過去５か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

４　ふるい目幅1.70㎜で選別された10ａ当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70㎜で選別された玄米の重量である。

５　作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

６　10ａ当たり平均収量とは、10ａ当たり収量の過去５か年のうち、最高、最低を除いた３か年の平均値である。

７　作況単収指数は、10ａ当たり平均収量に対する10ａ当たり収量の比率である。

また、平成28年産から令和元年産までの10ａ当たり平均収量及び作況単収指数は1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和２年産以降の10ａ当たり平均収量及び作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

表２　水稲の 10ａ当たり平均収量及び作況単収指数の推移（都道府県）

区　分	最も多い使用割合の目幅	令和３年産		4		5		6		7	
		10a当たり平均収量	作況単収指数	10a当たり平均収量	作況単収指数	10a当たり平均収量	作況単収指数	10a当たり平均収量	作況単収指数	10a当たり平均収量	作況単収指数
	mm	kg		kg		kg		kg		kg	
北　海　道	1.90	534	107	545	103	554	100	558	101	561	98
青　　森	1.90	582	100	583	97	584	101	590	101	590	101
岩　　手	1.90	521	101	523	97	523	102	528	103	530	101
宮　　城	1.90	517	101	515	99	515	104	521	106	528	99
秋　　田	1.90	555	100	551	94	545	96	547	101	544	103
山　　形	1.90	580	102	582	96	581	97	583	95	572	102
福　　島	1.85	538	100	537	99	537	101	539	101	541	102
茨　　城	1.85	498	105	505	101	508	101	514	102	518	98
栃　　木	1.85	515	101	515	97	515	104	515	101	520	100
群　　馬	1.80	484	98	480	101	481	103	481	100	483	101
埼　　玉	1.80	477	103	479	101	481	98	481	96	481	96
千　　葉	1.80	527	102	527	102	529	104	534	105	541	101
東　　京	1.80	400	99	396	104	399	104	400	101	404	101
神　奈　川	1.80	473	99	468	103	468	104	472	98	472	102
新　　潟	1.85	526	96	514	102	521	96	521	99	516	102
富　　山	1.90	527	98	520	101	523	98	522	99	518	99
石　　川	1.90	512	100	511	101	514	99	502	99	500	101
福　　井	1.90	486	98	483	100	482	99	480	103	480	103
山　　梨	1.85	528	98	523	99	520	103	511	101	511	100
長　　野	1.85	602	96	597	99	593	101	593	102	593	103
岐　　阜	1.80	471	99	468	102	468	102	472	100	472	103
静　　岡	1.85	503	98	499	100	497	103	493	96	485	104
愛　　知	1.85	485	99	480	102	480	98	477	101	476	101
三　　重	1.85	463	102	462	106	470	103	472	99	475	104
滋　　賀	1.90	480	101	480	101	480	98	479	101	481	105
京　　都	1.85	488	100	486	102	486	101	487	105	491	106
大　　阪	1.80	483	99	479	102	479	102	483	98	479	100
兵　　庫	1.85	474	99	471	103	471	101	474	100	474	105
奈　　良	1.80	503	100	501	102	501	101	504	103	507	104
和　歌　山	1.80	486	100	482	106	482	103	488	102	494	106
鳥　　取	1.85	498	97	492	100	491	96	491	100	490	106
島　　根	1.90	488	99	484	100	482	101	482	101	484	106
岡　　山	1.85	494	101	491	101	490	101	494	100	496	103
広　　島	1.85	501	100	497	103	497	105	497	104	509	104
山　　口	1.85	479	101	477	105	479	103	476	104	492	107
徳　　島（普通栽培）	1.80	469	97	462	102	464	102	467	101	472	108
香　　川	1.80	469	103	469	105	474	102	483	100	484	104
愛　　媛	1.80	460	106	462	106	465	104	481	102	494	104
高　　知（普通栽培）	1.80	402	101	398	104	398	103	401	100	405	106
福　　岡	1.85	448	100	443	103	439	104	439	101	448	107
佐　　賀	1.85	459	106	458	105	453	110	453	106	483	107
長　　崎	1.80	462	100	455	97	446	107	446	106	458	107
熊　　本	1.85	478	97	469	98	459	108	459	106	471	107
大　　分	1.85	455	104	452	104	449	107	430	107	456	107
宮　　崎（普通栽培）	1.80	476	101	475	98	468	102	466	101	470	103
鹿　児　島（普通栽培）	1.80	463	102	462	100	460	105	460	100	465	105

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：１　10ａ当たり平均収量とは、10ａ当たり収量の過去５か年のうち、最高、最低を除いた３か年の平均値である。

２　生産者が使用しているふるい目幅は、都道府県ごとに、過去５か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

３　作況単収指数は、10ａ当たり収量の前年産までの５か年中３年平均（最高、最低除く）に 対する10ａ当たり収量の比率である。

４　なお、10ａ当たり平均収量及び作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

表３　水稲の年次別推移（都道府県）

区　分	最も多い使用割合の目幅	令和３年産		4		5		6		7	
		10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比
	mm	kg		kg		kg		kg		kg	
北　海　道	1.90	570	102	563	99	555	99	562	101	549	98
青　森	1.90	584	97	567	97	587	104	598	102	596	100
岩　手	1.90	528	100	508	96	535	105	546	102	533	98
宮　城	1.90	520	99	511	98	537	105	550	102	525	95
秋　田	1.90	555	98	517	93	524	101	552	105	559	101
山　形	1.90	592	100	560	95	564	101	553	98	585	106
福　島	1.85	536	99	530	99	542	102	546	101	554	101
茨　城	1.85	521	100	509	98	513	101	523	102	508	97
栃　木	1.85	520	100	497	96	537	108	521	97	521	100
群　馬	1.80	476	99	486	102	494	102	483	98	488	101
埼　玉	1.80	489	100	484	99	472	98	463	98	464	100
千　葉	1.80	539	102	535	99	550	103	559	102	546	98
東　京	1.80	394	100	412	105	414	100	405	98	408	101
神　奈　川	1.80	470	101	481	102	486	101	463	95	482	104
新　潟	1.85	507	94	525	104	502	96	515	103	525	102
富　山	1.90	515	96	523	102	511	98	515	101	512	99
石　川	1.90	500	99	502	100	499	99	495	99	507	102
福　井	1.90	478	99	481	101	475	99	494	104	496	100
山　梨	1.85	504	99	509	101	526	103	518	98	511	99
長　野	1.85	579	98	589	102	601	102	604	100	612	101
岐　阜	1.80	466	102	477	102	476	100	474	100	485	102
静　岡	1.85	488	106	494	101	507	103	472	93	505	107
愛　知	1.85	480	102	488	102	468	96	480	103	482	100
三　重	1.85	474	103	489	103	483	99	468	97	493	105
滋　賀	1.90	483	102	487	101	470	97	484	103	505	104
京　都	1.85	486	100	497	102	489	98	512	105	520	102
大　阪	1.80	476	106	489	103	489	100	472	97	481	102
兵　庫	1.85	468	103	487	104	478	98	475	99	498	105
奈　良	1.80	502	109	512	102	507	99	517	102	526	102
和　歌　山	1.80	484	109	511	106	498	97	500	100	526	105
鳥　取	1.85	485	98	494	102	469	95	491	105	517	105
島　根	1.90	483	101	485	100	489	101	485	99	515	106
岡　山	1.85	498	105	496	100	497	100	496	100	513	103
広　島	1.85	502	106	511	102	522	102	515	99	529	103
山　口	1.85	485	139	502	104	493	98	497	101	528	106
徳　島（普通栽培）	1.80	457	96	473	104	471	100	472	100	511	108
香　川	1.80	485	101	493	102	485	98	481	99	502	104
愛　媛	1.80	498	111	505	101	493	98	491	100	512	104
高　知（普通栽培）	1.80	407	105	412	101	408	99	400	98	430	108
福　岡	1.85	447	122	456	102	458	100	442	97	478	108
佐　賀	1.85	487	124	479	98	500	104	482	96	515	107
長　崎	1.80	460	116	442	96	477	108	472	99	492	104
熊　本	1.85	465	109	461	99	496	108	487	98	504	103
大　分	1.85	457	133	451	99	470	104	459	98	488	106
宮　崎（普通栽培）	1.80	483	106	465	96	476	102	470	99	484	103
鹿　児　島（普通栽培）	1.80	474	107	463	98	482	104	458	95	490	107

資料：農林水産省統計部『作物統計』
注：　10ａ当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

【統計表】
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040477274&ext=xls

【水稲の10ａ当たり収量の平均比見込み及び前年比見込みの概要】
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稲の 10ａ当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み並びに水稲調査結果の主な利活用】
- 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成６年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】
本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積･生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y2

【関連リンク】
農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
https://www.maff.go.jp/j/nousan/

お問合せ先

◎本統計について
農林水産省　大臣官房統計部
生産流通消費統計課　普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について
農林水産省　大臣官房統計部
統計企画管理官　統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037

政府統計
政府統計の総合窓口
（e-Stat）
https://www.e-stat.go.jp/

SAFF
データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries

○オンラインコミュニティ「みのりボイス」の開設について
水稲生産者や関係機関の皆様が参加できるオンラインコミュニティ「みのりボイス」を開設しました。生産者・農業関係者ならどなたでも参加でき、皆様から共有いただいた全国各地の生育状況や被害情報などを地図上で確認できるほか、農業ニュースや気象情報も閲覧でき、日々の営農判断にもご活用いただけます。
以下のURLまたは右側の二次元コードから、ぜひご参加ください。
https://minori-voice.maff.go.jp/lp/

○水稲収穫量調査の試行調査について
一部の水稲生産者の方々を対象に水稲収穫量調査の試行調査を実施しております。
調査時期　令和８年９月、10月、11月の３回
調査方法　統計調査員による聞き取り、オンライン、郵送のいずれか
オンライン、郵送調査は農林水産省作物統計調査第２次試行調査事務局により実施します。
お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN
トゥンクトゥンク
2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷
©Expo 2027

【目次】

統計表

1　令和８年産水稲の10ａ当たり収量の平均比見込み（８月15日現在）
2　令和８年産水稲の10ａ当たり収量の前年比見込み（８月15日現在）

水稲の10ａ当たり収量の平均比見込み及び前年比見込みの概要

「水稲の10ａ当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み」の概要は、農林水産省ホームページの「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

利用上の注意

1　統計数値については、次の方法によって四捨五入している。

原　　数		７桁以上（100万）	６桁（10万）	５桁（１万）	４桁（1,000）	３桁以下（100）
四捨五入する桁数（下から）		３桁	２桁		１桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

2　10ａ当たり収量の平均比見込み及び前年比見込みとは、10ａ当たり予想収量が10ａ当たり平均収量及び前年の10ａ当たり収量と比較して多いか少ないかを表しており、上回る、やや上回る、平均並み（前年並み）、やや下回る、下回るの５段階で表している。

10a当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み区分	下回る	やや下回る	平均並み（前年並み）	やや上回る	上回る
対平均比（対前年比）	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

3　10ａ当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み（８月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行ったため、今後の気象条件により変動することがある。

4　この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和８年産水稲の８月15日現在における10ａ当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み」（農林水産省）による旨を記載してください。

【統計表】

目次へ戻る

1　令和８年産水稲10ａ当たり収量の平均比見込み（８月15日現在）

区　　分	10ａ当たり収量の平均比見込み	区　　分	10ａ当たり収量の平均比見込み
北　海　道	やや上回る	三　　重	平均並み
青　　森	やや下回る	滋　　賀	やや上回る
岩　　手	やや下回る	京　　都	やや上回る
宮　　城	平均並み	大　　阪	やや上回る
秋　　田	平均並み	兵　　庫	平均並み
山　　形	やや上回る	奈　　良	やや上回る
福　　島	平均並み	和　歌　山	やや上回る
茨　　城	平均並み	鳥　　取	やや上回る
栃　　木	平均並み	島　　根	やや上回る
群　　馬	平均並み	岡　　山	やや上回る
埼　　玉	やや上回る	広　　島	平均並み
千　　葉	やや下回る	山　　口	平均並み
東　　京	平均並み	徳　　島（普通栽培）	やや上回る
神　奈　川	平均並み	香　　川	平均並み
新　　潟	やや上回る	愛　　媛	平均並み
富　　山	やや上回る	高　　知（普通栽培）	やや上回る
石　　川	やや上回る	福　　岡	やや上回る
福　　井	やや上回る	佐　　賀	やや上回る
山　　梨	やや上回る	長　　崎	やや上回る
長　　野	平均並み	熊　　本	やや上回る
岐　　阜	平均並み	大　　分	平均並み
静　　岡	平均並み	宮　　崎（普通栽培）	やや上回る
愛　　知	平均並み	鹿　児　島（普通栽培）	やや上回る

注：１　10ａ当たり収量の平均比見込みは、気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）を説明変数、10ａ当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。

２　本表における10a当たり収量の平均比見込み区分は、「上回る」が対平均比106%以上、「やや上回る」が105～102%、「平均並み」が101～99%、「やや下回る」が98～95%、「下回る」が94%以下に相当する。

３　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの平均比見込みである。

目次へ戻る

２　令和８年産水稲10ａ当たり収量の前年比見込み（８月15日現在）

区　　分	10ａ当たり収量の前年比見込み	区　　分	10ａ当たり収量の前年比見込み
北　海　道	やや上回る	三　　重	前年並み
青　　森	やや下回る	滋　　賀	やや下回る
岩　　手	やや下回る	京　　都	やや下回る
宮　　城	前年並み	大　　阪	やや上回る
秋　　田	前年並み	兵　　庫	やや下回る
山　　形	前年並み	奈　　良	前年並み
福　　島	やや下回る	和　歌　山	やや下回る
茨　　城	前年並み	鳥　　取	やや下回る
栃　　木	前年並み	島　　根	やや下回る
群　　馬	前年並み	岡　　山	前年並み
埼　　玉	やや上回る	広　　島	やや下回る
千　　葉	やや下回る	山　　口	やや下回る
東　　京	前年並み	徳　　島（普通栽培）	やや下回る
神　奈　川	前年並み	香　　川	やや下回る
新　　潟	前年並み	愛　　媛	やや下回る
富　　山	やや上回る	高　　知（普通栽培）	やや下回る
石　　川	前年並み	福　　岡	前年並み
福　　井	前年並み	佐　　賀	やや下回る
山　　梨	やや上回る	長　　崎	前年並み
長　　野	前年並み	熊　　本	前年並み
岐　　阜	やや下回る	大　　分	やや下回る
静　　岡	やや下回る	宮　　崎（普通栽培）	前年並み
愛　　知	前年並み	鹿　児　島（普通栽培）	やや下回る

注：１　10ａ当たり収量の前年比見込みは、気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）を説明変数、10ａ当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。

２　本表における10a当たり収量の前年比見込み区分は、「上回る」が対前年比106%以上、「やや上回る」が105～102%、「前年並み」が101～99%、「やや下回る」が98～95%、「下回る」が94%以下に相当する。

３　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの前年比見込みである。